

船舶事故調査報告書

令和2年7月22日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（棧橋）
発生日時	令和元年9月24日 12時15分ごろ
発生場所	北海道釧路市釧路港西区第2ふ頭南側バルク1号棧橋 釧路港西区南防波堤東灯台から真方位302° 1,090m付近 （概位 北緯42° 59.7′ 東経144° 19.8′）
事故の概要	貨物船SEMIRAMISは、着棧中、棧橋に衝突した。
事故調査の経過	令和元年10月4日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 SEMIRAMIS（リベリア共和国籍）、44,827トン 9658056（IMO番号）、RED ROSE NAVIGATION CORP.
乗組員等に関する情報	船長（ギリシャ共和国籍）、免状不詳 水先人、釧路水先区一級水先人水先免状
負傷者	なし
損傷	本船 左舷船尾部外板に擦過傷 棧橋 コンクリートに欠損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 5、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	<p>本船は、船長ほか19人（ギリシャ共和国籍1人、フィリピン共和国籍18人）が乗り組み、水先人が水先業務に当たり、釧路港西区第2ふ頭南側バルク1号棧橋（以下「本件棧橋」という。）に入船左舷着けする予定で、右舷船首部及び右舷船尾部にそれぞれタグボートを配し、本件棧橋に接近した。</p> <p>本船は、極微速で前進中、水先人が、本件棧橋側に本船が圧流されていることに気付き、2隻のタグボートに微速で引くように指示したところ、本件棧橋から離れ始めたので、引きを極微速に減じるよう指示した後、本船が再び本件棧橋側に圧流され始めたので、2隻のタグボートに再度微速で引くように指示したものの、左舷船尾部が本件棧橋西端角に衝突した。</p>
分析	本船は、右舷船首部及び右舷船尾部にそれぞれタグボートを配して入船左舷着けで着棧中、風により本件棧橋側に圧流され始めた際、水先人が、2隻のタグボートに引きを強めるように指示するのが遅れたことから、船尾部が本件棧橋に接近し、左舷船尾部が本件棧橋に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、右舷船首部及び右舷船尾部にそれぞれタグボートを配して入船左舷着けで着棧中、風により本件棧橋側に圧流され始めた際、水先人が、2隻のタグボートに引きを強めるように指示する

	<p>のが遅れたため、船尾部が本件棧橋に接近し、左舷船尾部が本件棧橋に衝突したものと考えられる。</p>
<b>再発防止策</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 風下側の棧橋に着棧する際は、風の影響を考慮し、タグポートへの指示を迅速かつ適確に行うこと。</li></ul>